

(別添3)

**【南城市】**  
**校務 DX 計画**

「GIGA スクール構想の下での校務の DX 化チェックリスト」3 4 項目において、当市の主な課題として、クラウドサービスの活用、FAX・押印の廃止、校務における生成 AI の活用等の課題を解決するために、以下の解決策に取り組む。

(1) クラウドサービスの活用について

当市では防災メールや LINE、スクリレの他、Google が提供する Classroom や Google ドライブ、フォーム、meet 等のクラウドサービスが利用可能である。学校から保護者への周知、保護者から学校への連絡、教職員同士の情報や教材の共有、教職員から児童生徒への宿題やお便りの配布をクラウドサービスを活用し取り組んでいるものの、「GIGA スクール構想の下での校務の DX 化チェックリスト」3 4 項目の回答内容からクラウドサービスの活用が十分では無い状況も散見される。このことを踏まえ「GIGA スクール構想の下での校務の DX 化チェックリスト」から市内小中学校において特に活用の促進を進めていく以下の項目について改善を図っていくものとする。

No	設問内容	取り入れていない	一部取り入れている (半分以下)	一部取り入れている (半分以上)	取り入れている
1	児童生徒の欠席・遅刻・早退連絡について、クラウドサービスを用い、PC・モバイル端末等から受け付け、学校内で集計していますか。	14.3%	7.10%	42.9%	35.7%
2	学校から保護者へ発信するお便り・配布物等をクラウドサービスを用いて一斉配信していますか。	14.3%	14.3%	57.1%	14.3%
3	クラウドサービス等を活用し、授業中の小テスト等に CBT を取り入れていますか。	64.3%	0%	0%	35.7%
4	職員会議等の資料をクラウド上で共有しペーパーレス化していますか。	0%	7.1%	35.7%	57.1%

Google が提供する Google フォームや市独自に整備を進めている LINE、スクリレ等を活用した欠席・遅刻・早退の連絡を一部学校にて取り入れられていない状況が見受けられることから、全ての学校においてクラウドサービスを活用した欠席・遅刻・早退のデータ集計を行える様に活用を促進する。また、保護者へ発信するお便りや配布物についてもホームページへの掲載及び防災メール、LINE、スクリレ、Google Classroom 等のツールを活用し一斉配信を行える様に周知と支援等を図ることとする。GIGA スクール構想第 1 期より職員間で活用する資料についてはペーパーレス化を促進。クラウド保存と閲覧が可能な環境が整っているものの一部の資料については印刷している状況も見られることから、更にペーパーレス化への取り組みを進めて行く。当市ではデジタルドリルの活用などオンライン教材による宿題を一部の学校で行っているものの、無償で利用可能な MEXCBT 等の活用が進んでいない状況があることから、学習 e ポータルや MEXCBT の活用によるペーパーレス化の促進やクラウドを活用した小テスト等の実施に取り組んで行く。また、同様に学習 e ポータルや MEXCBT の活用メリットや操作スキルやについて支援を進めていく。

## (2) FAX・押印の原則廃止

令和 5 年 12 月に文部科学省が公表した「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェック リスト」に基づく自己点検結果の報告によると、一部でまだ保護者・外部とのやりとりで押印・署名が必要な書類があり、クラウド環境を活用した校務 DX を大きく阻害していることが指摘されていることから、災害や教育ネットワークの不具合時など FAX の方が電子メール等より効率的な場合を除き、FAX・押印の原則廃止に向けて、各種関係機関 及び学校と関わりのある事業者に対して、教育委員会から慣行の見直しを依頼するなど、継続的に働きかけを行う。

## (3) 校務における生成 AI の活用

生成 A I は授業計画や教育方針等の資料作成支援、生徒からの提出物やテスト結果に基づくフィードバックの自動生成、学校から保護者や地域向けの広報文章作成、教職員向けの研修資料の作成、生徒の学習支援として課題に対するヒントを提供したりアドバイスを即座に与え学習の遅延を防ぐなど、様々な活用が期待されているものの市内小中学校において積極的な活用は進んでいない状況も見られることから、生成 A I を活用した校務効率化に取り組めるよう支援を進める。